

# [活動報告]

## 19世紀学学会活動報告(2009年度)

2009年11月28日(土)	<p><b>第1回シンポジウム「啓蒙主義の時代における神秘主義思想—ヨーロッパ文化のもう一つの思想的潮流」*<sup>1</sup></b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●坂本貴志(山口大学)「集合的記憶の生成：カントからフロイトへ」</li><li>●大角欣矢(東京藝術大学)「ハルモニアの形而上学と啓蒙思想：18世紀から19世紀初頭のドイツ語圏における対位法をめぐる言説を中心に」</li><li>●今野喜和人(静岡大学)「神秘思想家の見たフランス革命：サン・マルタンの『クロコディル』を中心に」</li></ul>
2010年1月9日(土)	<p><b>第2回シンポジウム「近代とミュージアムの成立」*<sup>1</sup></b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●種田明(静岡文化芸術大学)「ミュージアムの成立と展開」</li><li>●小田部胤久(東京大学)「歴史家としてのヴィンケルマン：バロックと古典主義の交錯するところ」</li><li>●岡本和子(大東文化大学)「言語というアーカイヴ：ベンヤミンの『蒐集』をめぐって」</li></ul> <p><b>19世紀学学会総会</b></p>
2010年3月1日(月)	<p><b>第3回シンポジウム「ヨーロッパ・半島・日本：新しい『文化学』の構築を目指して」*<sup>1</sup></b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●逸見クロエ(新潟大学)「『越後国柏崎弘知法印御伝記』：地方から日本の特質を探る」</li><li>●染谷智幸(茨城キリスト教大学)「日本近世文学を東アジアから考える：韓半島から東・南シナ海の海洋域を見渡しつつ」</li><li>●高橋博巳(金城学院大学)「東アジアの半月弧 East Asian Crescent：浪華・ソウル・北京・ハノイ」</li><li>●グリゴレ・パスカル(フランス国立東洋言語文化大学)「日本の大衆演劇：現在の旅芝居の魅力」</li></ul>
2010年3月末	<p><b>第1回研究会「ミュージアムの思想」*<sup>2</sup>(仮題)</b> 発表予定者：宮崎裕助、逸見龍生、桑原聡</p> <p>*<sup>1</sup> 新潟大学人文社会・教育科学系、人文学部、「19世紀学研究所」と共催 *<sup>2</sup> 新潟大学人文学部 研究プロジェクト「19世紀学研究」(代表：桑原聡)と共催</p>